

交流

発行日:平成21年9月1日 第5号
福島日中文化交流会 事務連絡先
〒960-0613 福島県伊達市保原町字内町21-5
Tel/Fax 024-575-2071 携帯:090-2360-3275
Email:mayumi_mihojp@yahoo.co.jp
URL:http://www.rizhongwenhua.com

平成21年度定期総会開催

更なる飛躍への活動を

福島日中文化交流会の平成21年度定期総会は、7月5日午後5時30分より古閑裕而記念館で開催されました。今回は会が発足して2回目の総会で、斎藤佐久男さんの司会のもと、まず顧問の高橋重夫さんがあいさつ「会員名簿を拝見しますと会員78名もあり、立派に発展していますことを喜んでおります。発足して2年足らずですが、多くの会員交流活動を行っており、又、外部との日中文化交流も活発で、本会の目的である「身の回りから日中文化交流活動を楽しくやっ行ってこう」が活発に行われており、ご立派で有ります。又、逼近では福島県からの依頼の上海からの小学生80名のホームステイ受け入れを30名も行うことは福島県に本会の存在を広く示すことが出来ました」と話され、続いて岩間真弓代表幹事が立ち、「皆様、本会を支えて頂きまして感謝申し上げます。平成20年度の活動では日本中国語検定協会理事長の上野恵司先生を招いての講演会開催で68人の参加で大成功でした。又、中国人との中秋節イベント、西安への中国学習団はいろいろとトラブルは有りましたが、現地先生方のご尽力で無事に解決し、最近の大連への中国学習団を実施できました。中国人との交流の温かい気持ちが日中友好の種となっていると思います。本年度は①中国会話教室をベースとして②民間団体で一番活動していると自負する、中国人との文化交流③会員一人々が活動の主役で有ることを目指したいと思います。会員はじめ関係先等多くの方の協力がある今日の日を迎えることが出来た」と感謝のことばを述べられました。第2回通常総会は委任状38人を含む66人が出席、会員78名の過半数を超えて総会成立を確認しました。

猪股宗男さんが議長を務め、議事審議に当たっては、斎藤佐久男さんが決算説明、福島富士雄さんが監査報告、岩間真弓代表幹事が西安への中国語学習団、上野恵司先生を招いての講演会開催など平成20年度活動報告また中国語会話教室をはじめ平成21年度活動計画と予算案を説明承認されました。その他、下記のような活発な意見も出されました。

- ①日本語教室の現状を安齋紀子さんがご紹介した
又、参加会員の中国人3名から自己紹介が有りました。
- ②渡部千佳子さんから会員数の増強宣伝を皆様にお願ひした。
- ③学習団の行先質問に対して広西省の検討を始めた代表幹事の返事。
- ④顧問の高橋さんから健康マージャンは午前から開始するように成り、楽しいので大勢の参加を希望しますのお誘ひ。

又、安齋紀子さん、加藤一朗の両名の新役員幹事の紹介が有りました。

一旦休憩に入り、アトラクションが披露されました。

【ピアノ伴奏フルート コンサート】

フルート演奏者：若月美香さん

月に一度のコラッセでのミニコンサート他、様々なイベント演奏活動を行っております。

ピアノ伴奏者：深谷順子さん



福島、宮城で結婚披露宴など、各種イベントで司会者、ピアノ奏者として活動されており、アンコ

ールを含めて月亮代表我的心等、9曲の透き通った美しい音色で皆様を魅了しました。生徒の一人として代表幹事の共演も有りました。

【会員の方のアトラクション】

①サクソフォーン演奏：猪股宗男さん

サマータイム等の名曲ジャズ演奏をされました。お年を感じさせない若々しい演奏でした。



②ハーモニカ演奏：佐藤満さん

昔懐かしい曲を披露されました。「我は海の子」替え歌の「我はノミの子」を昔話を交えて歌われました。

③中国人2名は英語、中国語の歌を披露しました。

④福島市民会館での結いゆいフェスタ参加の花架拳を参加衣装で参加者が素敵に再演して頂きました。

(加藤一朗 記)



花架拳教室講師

飯田加寿子先生20周年記念祝賀会

去る6月7日(日)午後1時より、音楽堂代ホールにて、当交流会花架拳教室の講師飯田加寿子先生の、20周年をお祝いする会が開催されました。

花架拳教室は、1昨年12月からスタートし、月1回90分のレッスンです。まだ回が浅いので、かなりの不安がありました。それでも、これを機会にしっかり覚えるという目標を持ち、正規教室以外にも練習時間を作り臨みました。花架拳の“一路”を学んでいますが、“一路”は更に四つの段に分けられます。今回は、一段をマスターして発表する事にしましたのです。

飯田先生の艶やかなお着物姿でのご挨拶で始まり、続いて茶道をなさっている方々による“謡”と日本の伝統的な重厚な雰囲気の中で幕が開きました。飯田先生は茶道の先生もなさり、他にヨガもご指導なさっていて、今回は、このような様々なジャンルでお習いをしている方々の晴れの舞台でもあったのです。



私たちは「民族衣装と花架拳」と題し、岩間真弓さん、一條美意子さん、斎藤佐久男さん、矢部良子さん、渡部千佳子の5名で、日中文化交流会ならではの少数民族衣装を紹介しながら、姜小青さんの「太湖船」の音楽に

合わせるという構成にしました。

持ち時間は7分で、岩間代表の絶妙な当会の宣伝、矢部さんと一條さんによる剣を使った登場シーン！ 哈尔族・西藏族・内蒙古族・白族・新疆維吾族の色取り取りの、個性豊かな衣装を纏った華麗な花架拳の舞!! そして、佐久男さんによる唯一男性の花架拳は、何よりのスパイスでした!!

「とても良かった」「輝いていたよ」と、お褒めの言葉も頂いて、観客の目をかなり引き付けた事は確かです。

朝からリハーサルが有り、3時間半の発表、舞台の後の懇親会と、忙しい一日でしたが、色々な見せ方の出来る花架拳に酔いながら、とても爽やかに、楽しく参加する事ができました。

(渡部千佳子)





——満話乱書——

むかしの空 むかしの雨

戦後大きく変わったものが二つある。その一つが社会現象、つまり殺傷多発の世相であり、もう一つは温暖化が深刻化している自然現象だ。

世相——もう目に余る。親の子殺し、子の親殺し、通り魔殺傷事件等々——。これは戦後ズーと尾を引いて来た日教組主導の、歴史(特に近代史)、道徳に背を向けた学校教育が原因と言っている。

自然現象——これも大きく変わった。絶滅してはいるが、「ひばり」の声が聞こえなくなり、地上からは「キリギリス」「ツクツクボウシ」が姿を消した。

それで今回は「むかしの空 むかしの雨」と題して話を進める。

×

私は子供の頃から空を眺めるのが好きで、こんな遊びをした。太陽を背に左手で挙手の礼(警察官の敬礼)をし、地面に映る影を見つめて空に目をやると、青い空にははっきりと凜々しい形が映し出される。(実際は眼底の残像だが)その時の空の色は本当に青かったし、地上の陰も濃かった。

私は1972年に仕事で札幌に赴任したが、4階の事務室から眺めた街路樹の陰が、本州のそれより濃いのに気付いた記憶がある。それだけ北海道の空は澄んでいたということだろう。

「日本晴れ」という言葉があるが、昔は日本列島全体が、砂利道や木造家屋で水気タップリだったからで、夏の日打ち水も涼を呼んだ。今では快晴の日があっても、もう再び日本晴れを見ることは出来ない。私は1964年10月10日の、前日が大雨だった(当時宇都宮に住んでいた)東京オリンピックが、

最後の「日本晴れ」の日と思っている。

また、晴れた夜空も素晴らしかった。まさに「満天の星」で、少し眺めると一つや二つの流星が見られたし、視力の検査になった北斗七星のベータ星の傍の、小さな星も見ることが出来た。天の川がはっきりしない今、この星を見られるのだろうか。

「入道雲」にしても、その名の入道らしさ、モクモクといった「湧き上がる」様や形が見られなくなり、近頃の若者のような、ぼさぼさ頭の積乱雲が多くなった。入道雲がもたらす夕立は、「驟雨」の言葉から分かるように、昔のそれは馬が急に走り出す勢いと激しさがあつたし、「晴天の霹靂」の言葉も実感出来た。今はそうではない。雲自体、いや空全体がぼやけてしまって、夕立そのものが少なくなった。

台風も一過したのは昔のこと、大きな被害をもたらす気まぐれゆっくり台風が増え、「二百十日」「二百二十日」が意味をなさなくなって来ている。

×

小学6年の唱歌に「降るとも見えじ春の雨」で始まる《四季の雨》があり、昔の雨には趣きがあつた。

「通り雨」「にわか雨」にしてもはっきりしていて、それと分かったものである。

通り雨の思い出は、子供の頃晴れているのに北の方から雨音が聞こえた。「おや? 天気なのに」その途端、ザーッと来たと思ったら、一瞬間に隣りの家の鶏小屋のトタン屋根を音たてて濡らして過ぎ去り、まさに名のと通りの「通り雨」だった。

にわか雨ではこんなことがあつた。自転車通学だった昭和25年夏のことである。当時は信夫丘球場に近い松川橋と、瀬上入口間だけ舗装されていて、国道とは言え砂利道が多かった。噂では戦時中の飛行機の離着陸を考慮してのことだったとか。そのためか道路には電柱がなかった。

その舗装道路を自転車で走っていると、行く手の鎌田方面は煙っていて雨のようだ。「これはまずい」と思いながらペダルを漕いでいると、雨は遠ざかりアスファルトが濡れているのに気が付いた。「おう、大分降ったんだな」と思う程なく、水を撒いたように濡れたところと、乾いた境に出っくわしたのである。私は「こんなこともあるのか」とびっくりして、道路の真ん中に立ち尽くした。

中国語学習団



アカシヤの大連に学ぶ

芥川賞作家の清岡卓行は、アカシヤの大連について、大連を訪ねるなら5月25日と日にちまで指定し、街の美しさを讃えている。

その5月25日に、中国語学習団の大連訪問が、代表幹事岩間さんと市政府幹部との交流が縁で実現し、市政府の厚意によりアカシヤ祭（大連賞槐会）の開幕式に招待された。

何と幸運だったことか！

寄せられた大連大学学習団々員の感想文は次のとおり。

(佐藤満)

大連大学学習団

人と人とを結ぶ)))))

(((((不思議な出会い

高橋 重夫

600万人都市の大連は 整然、清潔、おしゃれで明るい街だ——平成21年5月24日～31日の大連大学学習団を無事終えて、まず強く残った印象はこのことでした。

人を幻惑するような超高層ビルはありませんが、みんな程よい高さで落ち着いた色合いです。高度発展を誇示する上海その他の沿海都市と較べても、一味違った眺めでした。加えてアカシア、プラタナスなど緑豊かな街路樹、海沿いの観光エリアの規模の大きいこと、生活環境のよさでは中国有数に違いありません。このような思いとともに、今回の学習団が結果として人と人との不思議な縁で結ばれていたことは、更に大きな感動でした。

大連学習団の企画が、大連市政府副秘書長の于建

軍先生と代表幹事岩間真弓さんの交流が縁で実現したことはすでにご承知のとおりです。于先生は駐日大使館の書記官だった16年前、中国語会話教室立ち上げに頑張っている岩間さんを応援するため、夏季強化学習会にわざわざ来福したことがあり、私もその時于先生と初めてお会いしました。

写真は、16年前に交換した名刺を見つめる于建軍先生



大連に戻った于先生と岩間さんの交流はその後も続き、今回は大学の選定から日程の大筋まで、すっかり于先生に手配していただきました。市政府副秘書長のポストは想像以上に偉くて多忙です。その方から直接声が掛かったのですから、大学側も“学賓”扱いという最高の受け入れで応えてくれたわけです。



大連到着の日に、旧日本の南満州鉄道会社が建てた由緒ある南山賓館で大学主催の歓迎宴会がありました。主人役は学長補佐で日本語文化学院長の宋協毅教授でした。宋先生の日本語は実に流暢、中肉中背で顔付きも“中国人離れ”しており、日本人かと錯覚したくらいです。その宋先生の第一声が

「懐かしい！ 24年前私は社会人の初仕事で、須賀川に半年滞在しました。福島には思い出一杯です」

これには私たちがびっくり。須賀川から学習団に

参加した川島一雄さんは眼を丸くしました。須賀川
の林精器は精密機器で有名な地場企業です。大連外
語大を卒業したばかりの宋先生は、そこで7か月間
通訳の仕事をしていたというのです。

さらにいろいろお話をしているうちに、私や岩間
さんと宋先生の間にも、共通の友人知人が数名いるこ
とが判り、途端に宋先生が十年來の友人のように思
えてなりませんでした。

私と大学同期で3年前の上海外語大学習団で世話
になった王宏教授。NHK講座の荒川清秀愛知大教授、
荒川先生は前述の于先生が駆け付けた学習会で講師
を務めて頂きました。そのほか西安交通大や筑波大
を経て現在愛知大教授の顧明耀先生——いずれも中
国語や日本語教育に関する権威で、宋先生とも深い
関わりがあることが判り、本当に不思議な縁という
か、日中間の絆の濃やかさに大きな感動を覚えました。

私たちが送った礼状に対して、宋先生から丁寧な
返事が届きました。先生も同じく感動されたようで
す。読んでください。



左の方が宋協毅先生、右は王洪涛先生

(宋協毅学院長からのメール)

福島日中文化交流会

大連大学学習団 団長 高橋 重夫 様

秘書長 岩間 真弓 様

今晚は！

ご丁重で心の温まるメッセージをいただき、本当
にありがとうございました。

このたび、私たち大連大学側が、大連市政府于副
秘書長のご紹介で貴学習団を受け入れさせていただ
けたことは、本学王書記長の言ったとおりに、まさ

に大連市政府の信頼と中日交流の絶好のチャンスだ
と受け止めており、皆様には少しでも大連を知り、
大連人民と大連大学の中日友好を願う気持ちを理解
していただければ、私どものこの上ない喜びでござ
います。皆様は無事に福島に帰られ、大連ご滞在中
の観光と学習などにはご満足をいただいたようで、
一安心しております。学習団の皆様方の中国の言語
文化などに対する向学心と中国人民に対する暖かい
お気持ちには、心から感謝申し上げたいと思います。

皆様方が仰ったとおりで、世の中には本当に不思
議なご縁があるもので、24年前に私が最初に訪問
したのは御地の福島で、須賀川や王宏先生、荒川清
秀先生など私たちと共通の繋がりがあるというこ
とは、ただ偶然だとは言えないものですね。私にと
っては足掛け11年も居た名古屋よりも半年滞在した
須賀川の方がもっと鮮明に記憶に残り、福島と聞
くだけで親近感が湧くものです。故郷から来た親戚を
招待したということをしただけなので、お礼には本
当に及びません。

世の中は甲型H1N1(注：新型インフルエンザ)の
騒ぎの最中に大連へ来られ、大連の市街や周辺観光
施設、それにアカシアの白い花と緑などが高く評価
され、中国における環境No1都市だとお褒めいた
だき、ありがとうございました。

私の頭にあるのは皆様が帰国直後に見上げられた
梅雨含みで薄墨色の日本の空と田植えが終わったば
かりの田圃で、その中国の江南地方の水郷と重な
って見える福島の長閑な田園風景が懐かしいです。本
当に 中国好、日本也好！です。

皆様のお気持ちと同様に、私たちも中日両国が未
永く平和で仲良く手を携えて行くことが出来るよう
に、今後も今回のような草の根の友好交流活動を続
けて参りたいと思います。次回、王書記長の日本訪
問時には是非福島へ行き、大連福島間の各種交流活
動を展開するように私から素案を持ち上げ、私も2
4年ぶりに第二の故郷の土を是非踏みたいと願っ
ております。その都度、よろしく願いいたします。

皆様方のご健康とご多幸をお祈りし、再会を楽
しみにしております。

(大連大学日本語言文化学院院長 宋協毅)

2009・6・3

凤毛麟角的朋友

岩間真弓

平成21年5月24日～31日、私たち中国語学習団の一行は、私の18年来の友人である大連市政府副秘書長の于建軍さんのご紹介で大連市の開発区にある大連大学で楽しく学習して来ることができました。何から何まで細かいことすべてに気配りを感じ、今回もまた中国人の情の深さに感動し、忘れられない思い出深い旅をしていくことが出来ました。

于建軍さんはじめ大連大学の校長助理で日本語言文化学院院長の宋協毅さん、大連大学外事処処長の王洪涛さん、運転手の孫さん、大連大学の院長先生の王亮さん、陳先生、多くの先生方、スタッフのみなさん、食堂のみなさんに大変お世話になりました。今でも、優しいみなさんの顔が思い浮かびます。本当に感謝いたします。



大連大学は、大連市管轄の大学で于さんは、要求をすべてのんでくれるのでこの大学にしようとして紹介してくださいました。これも私たちのためにどんなことがあろうとも便宜を図れるようにという于さんの心使いだと思いました。中国人は、朋友というところん友達です。お互い遠慮がなくその朋友のために精一杯尽くします。

また、中国は、知ると知らない、または友人かそうでないかで待遇が全然違って来ます。知らなかったりするとまったく相手にしてくれないことが間々あります。

大連大学の外事処の処長さんの王洪涛さんと于さんとは、面識がなかったのですが、政府の要人のお願いとあって、まだ使ったこともない新しいマイクロバスを私たちの為に用意し、一食ひとり4,50

0円の(領収書見てしまいました。)歓迎会を催し、送別会も旧ヤマトホテル(大連賓館、歓迎会よりも高級)で国賓級の接待をしてくださいました。

大学でも端午節のお休みの時に先生方が私たちだけに休みを返上し、授業をしてくださいました。

お世話になりっぱなしで申し訳ない気持ちになりました。



また、世界一広い広場“星海公園“でアカシア祭りの開幕式に参加し、海岸線にできた40キロも続くぬくもりのある海浜木道を見ながら走り、日本系列の会社が2000社もある開発区を目の当たりにし、一大リゾート地のような大観光都市大連、目覚ましく発展した大連を見て来ることができました。

中でも、以前于さんから「長い海岸線に木道を作りたいのだけれど日本に長い木道はない？」と聞かれたことがあり、私は、日本のあちこちに電話をし、北海道などの資料を送ってあげたことがあります。今回、海岸線に40キロも続く木道を見た時、『あっこれだ！あの時、于さんが作りたいと言っていたのはこれだったんだ。』と思った時は、本当に感動しました。そして、于さんに「送ってくれた資料が大変役にたったよ。」と言われた時は、本当にうれしくなりました。

この度観光した大連市の水族館も于さんが手掛けたとかで、このように大連が発展した過程に、友人の于建軍さんが大連市建設のトップとしてご尽力され活躍されて来たのだと思うと心から祝福したい気持ちでいっぱいになりました。そして、私には、于さんのような中国人の友人がいることを誇りに思い、これからも友情を大切にしていきたいと思えます。

※鳳凰の羽毛と麒麟の角、「きわめて得難い人や物」という意味になります。

下記の手紙は、王亮院長先生への感謝のメールに対する返信です。

尊敬的岩间真弓先生：

您好！

您的来信我已收到，多谢您的问候与关心。不知道福岛的天气如何？

非常感谢您的热心帮助，我们十分期望能与贵国的福岛县的大学合作。如果贵国的两所大学有意合作，请进一步与我校进行接洽，我们将非常欢迎贵国学生的到来，特别是暑期短训班。此外，我们更希望您能带团来大连大学访问考察，我们一定会尽地主之谊，热情接待来宾。

虽然没有去过福岛，但是我知道那是一个美丽的地方。如果方便的话，我一定会过去拜访。

再次感谢您的热情帮助。请您保重身体！
祝您工作顺利！

大连大学国际文化交流学院 院长
王亮

短期留学雑感

矢部良子

北京、上海、広州、武漢、西安そして今回の大連と6回目の参加でした。これまでの5回は旧正月の時期だったので、5月の大連は緑と花の季節でとても素晴らしかったです。

初日は南山賓館での市政府と大連大學主催の歓迎会があり、留学生生活のスタートを意識しました。

25日はアカシア祭り開幕式に参加しました。市政府招待で支給されたオレンジ色のTシャツと白帽子姿で紅白のパラソルの指定席に着きました。



大連市内在住の各民族の音楽やダンス、多数の愛好者による太極拳集団演武などのアトラクションを楽しみました。が、東洋一を誇る公園にはアカシアの木はなく、花を見ることはできませんでした。

授業は、初日のひとまずだけは留学生のクラスに入り一緒に学びました。ところが翌日から大學は連休となるために、急遽私たち日本人だけのクラスで学ぶことになったのが残念でした。けれども先生方はとても熱心で親切でしたし、連休返上で私たちに対応して下さった事に感謝しています。また、「快乐汉语」—在大連—と言う教科書（郷土教材）は、親しみやすく適切なものだと思います。

音楽の授業は、中国語の歌の指導は殆どが知っていたので楽しく過しました。老師の歌は「初恋」、何と中国で中国人老師が、日本語で豊かな声で情感たっぷり聞かせてくださいました。我非常感动了！

見学や体験した事では、27日午後の銅牛嶺の金牛童像には驚きました。天翔る巨大な黒牛に跨る金の童がめざすのは？



私には眼下にひろがるパノラマに豊かな自然を感じました。その時郭公の声が響いてきたので、王洪涛老師に擬声語をたずねましたら、「？」

傍らの赤井英和似の運転手さんが自信たっぷり「グーグウ、グーグウ」と教えてくれました。王老師がすかさず「日本語は？」と聞かれたので「カッコウ、カッコウ」と答えたら二人が笑い出したので、私たちもおかしくなって共に笑い合いました。他愛ないひと時でしたが妙に印象的な情景でした。

(注) 次ページの写真は、その豊かな自然の景色



アカシアの花は、午後の見学活動の中で道路沿いに植えてあるのを見ました。特に自然に群生した花が見られたのは、聖亜海洋世界（水族館）、老虎灘、40 公里も続く木道を見側した際に、その山側一帯で咲き誇っていました。中には赤い花もところどころに見られ感動しました。また、アカシアの花の天ぷらが美味とのこと、機会があれば是非とも口福も味わってみたいと思います。

×

大連市政府と大連大學主催の送別会は、大連賓館（迎賓館）で催されました。党幹部（市長より偉いとのこと）も出席され、迎えられた部屋は豪華で、中央に生花がふんだんに生けられた大円卓の席に着いた時は、場ちがいのような緊張感を覚えました。福島日中文化交流会と大連市との公式晩餐会なのだと思えたからです。なりゆきで私は正面（主人席）の真向かいに着席しました。するとすぐに赤いメニューカードが立てられましたが、あまり気かけずに料理に興味をもって見ていました。白い衣装の美人達が運んでくれた高級料理をナイフとフォークで味わったのは貴重な体験でした。話題も世界規模から須賀川市のことまで幅広く、主催者側と招かれた側の会話が、和やかに楽しく進められたと思いました。党幹部が「日本のカラオケは世界を席卷しましたね！」と言えば、高橋団長はすかさず「中国料理も世界を席卷してますね！」と笑顔で返す様子と同じ場で見聞きし、私たちの日中文化交流の理想像を見たように思いました。食事の場面では両国の固い話題は避け、相互に尊敬し合い、さりげなく言葉のキャッチボールができたらいいなあと思いましたが、この年齢では無理でしょう。

宋協毅老師が須賀川市の林精機（株）で通訳をしていた時に知ったと言う「カンプラ（じゃがいも）」を知っていたのは、須賀川市から参加した川島さん

と出身地が近い私と・・・？

なつかしい響きです。カンプラ。

帰国後に疑問だった席順について考えました。大連賓館での写真を見ても、メニューカードは私の席以外にはありませんでした。実は、何と主陪客の席だったのです。（下図参照）



本来ならば副団長さん・・・。申し訳ありませんでした。自分の非常識さに恥じ入るばかりです。

健康面では順調で参加者中女性最高齢者でしたが、無事に楽しい日々を過ごすことができました。皆様のお蔭だと心から感謝いたします。今後も心身の健康維持に努め、次の機会にもまた是非とも参加したいと思ひます。



中国語学習団に参加して

福嶋富士雄

大連、旅順には今回で3回行ったことになります。第1回目は1944年2月、同級生3人と受験のため北京を出発して大連に宿泊しました。

今になって考えると、宿泊した旅館は、今で言う連れ込み旅館（待合）であつたらしく、夜中に男女の嬌声らしきものが聞こえ、純真な私達を惑わせました。

第2回目は1999年3月で、近畿日本ツーリストの観光団に参加し、見知らぬオジイサンと同室になり、大連中山区の国際酒店に宿泊しました。専用バスであっちこっちに行った事が記憶に残っています。水師營でのナツメの樹と203高地を見学する

のが、私の楽しみでしたが、2ヶ所共、想像と余りにも異なり、がっかりした事を覚えております。

第3回目が今回です。今回は大學での学習があるので、余り浮き浮きしてはいけないと思い、ある程度自重して参加しました。



写真は、教室での私

私の楽しみは何んと言っても、大學のキャンパスを散策する事です。大連大學もキャンパスは、いずこも美しく清潔で、樹々の緑もあざやかで、雰囲気も上々で、心より満足致しました。又、案内して下さった王老師も、非常に親切で礼儀正しく、朝早くから夜遅くまでお世話を戴き、感謝にたえません。

尚、今回の私個人の買物は、重さ22kgにまで詰め込まれたトラベラーケースの中に、60元の三葉虫の化石と、75元の白酒2本のみでした。今回もお土産を買う難しさを味わいました。

大連追想

安原 毅

大連の春はさわやかでした。山や海のたたずまいは故国日本に何処と無く似かよっています。海に突き出た、山勝ち緑の潤いがある地形が、そして中国らしからず清潔感がある（怒らないでネ、中国の方！）風土を形成しているように思えます。

遼東半島は、遼寧省の南東部から南西部に突出する半島で黄海と渤海とを区切るように世界の海洋への玄関口を広げています。かつて不凍港を求めて、帝政ロシアが大連を占有して、旅順の港を確保した時の、かの国の嬉しさ誇らしさを想像すると、大きな希望に夢を見る思いであったことと察するのです。列強植民地主義国家のなりふりかまわない利権漁りの富国強兵の時代には、この大連港は国家の死命を決する重要地域であったことは論を待ちません。日露戦争の激戦地「203高地」の頂きから旅順港を俯瞰すると、国家戦略を預かる当時の者たちの思考

が手に取るように明らかに観察実感できて、善し悪しはともかく目的のための戦略構想の整合性が腑に落ちるのです。

今は、にせアカシアの花房が清風に揺れる樹林に覆われたこの丘陵の、かつての不毛で風の生臭い岩山の面影は、セピア色の記念館の展示写真のコピーで知ることが出来るだけです。日本兵の命の大安売りでかろうじてこの要害地を手中に収めた大日本帝国の、崩壊の歴史はこの地から始まったと言えるかもしれません。

古い歴史とロマンの香りを求めて

「203高地」を訪ねる日本人旅行者は、この地の戦闘で身のほど知らずに莫大に消耗された大量の砲弾の鉄破片を拾い集めて溶解し

て頂上に建造したといわれる、高さ十メートルほどの黒い戦勝記念塔の下で記念写真を撮るのが定番になっているようでした。しかし現地記念館での説明者の話にテーマ性が乏しく、消化不良気味であったのは、残念でした。頂上広場付近で付け足しの様にあとから道沿いに建てられた、小さい立て看板の「日本軍国主義の非道の証拠」の文面にプロパガンダの悪臭を感じたのは私だけであったか。



(注)「日本軍国主義云々」の語句が見える。

大連にはかつての南満州鉄道の本社や総督府があって南満州鉄道がここから北方のハルピン市、长春市などにつながり、北はロシアと西はモンゴル南は中国と境を接し、遼寧・吉林・黒竜江の三省からなる日本の傀儡国家満州国を経営した歴史があります。

またその歴史を裏付ける大連駅舎や旧大和ホテル、旧監視塔、旧住宅などが日本統治時代の遺構が種々の感慨を種々の国々の人に喚起させるように思います。現在もそのような関係もあってか、諸問題を乗り越えて日本企業、韓国企業などが企業団地を形成して活動しており、大連の経済力の隆盛の一翼を担っていると聞いて心から「良かったなあ」

大連市・大連大学のご配慮でアカシア祭りにご招待を頂きそろいのキャップとTシャツをプレゼント支給いただき海浜公園広場でイベントに参加できました。住在の全国各地の民族の歌舞などの演出が繰り出されて国際都市大連の雰囲気味わうことができ、初めての面白い経験でした。また大連市政庁舎を訪問、主幹の歓迎をうけました。旧満州国家の権威と豪華さを誇示する歴史的建造物を見る機会に恵まれたことは、建築に携わる仕事にある私にとって嬉しい限りでした。謝謝！ 以前に韓国ソウル市の慶福宮にあった日本帝国の造った朝鮮総督府は当時博物館として利用されていましたが、韓国政府の意向で解体消滅の憂き目に会ったのです。逆に中国では感情はともかく実質実利を優先する中国の国民性・気質を実感しました。建築物には罪はないので、優れた又歴史の証明としての文化財として価値あるものは有効活用するなり、移築しても残しましょう。それが文化に敬意を払うことになると思います。いまの中国で市庁舎に一般人が入館できるのなどというのは普通では無く、一般外国人旅行者にはあり得ないことらしいので、貴重な体験とご配慮には大感激いたしました。再謝謝！！

大連大学は外国からの留学生も多く、私のクラスではロシアと韓国からの学生と一緒に



した。先生方は熱心で心から学生の学力向上を願っている雰囲気がひしひしと感じられる授業内容でした。キャンパスは緑陰も豊か、清潔で軽やかな学舎がモダンな雰囲気です。学園林の中にはまなすや通称アカシアの花もさり気なく存在を誇って、学生食堂の食事もボリュームがあり安価、職員も親切雰囲気よし！でした。



我々の超短期の留学生の学業日の一週間のうち半分は、たまたま端午の祝日で授業は休講のはずだったのですが、特別に我々のために担当の老師連は、休みも返上して授業にお付き合いいただきました。ご迷惑をおかけしましたが、いずれも有能な先生がたでした。特に会話担当の「韓」先生の明るい笑顔と話が印象に残りました。ちなみに彼女は清王朝を立てた満族出身だそうです。風光雰囲気が日本に共通することと、比較的日本に近いことから、大連に別荘を作りたいなどと、法螺を吹く方も出たりして、楽しくすごしました。

最後に今回の学習団の一員として、裏方のご苦労と、人生の蓄積の提供に便乗させていただいたことに感謝致します。

ああ、参加してよかった！

佐藤 満

私が物心ついてから活動写真や「講談社の絵本」などで一番身近に感じていたヒーローは、豊臣秀吉や西郷隆盛ではなく、幼名を無人(なきと)と言った「乃木將軍」でした。従って大連大學学習団への参加を決めた時は、乃木將軍ゆかりの水師營と二百三高地を訪ねて、中山広場の旧ヤマトホテル(現在の大連賓館)を眺めて来られたら満足と、そう思って居りました。それが到着の日の南山賓館における市政府・大連大學主催歓迎会に加えて、帰国する前日には、この大連賓館で、市政府の于建軍副秘書室長、大連大學の王志強党委書記に、宋協毅日本語文化学院長が出席されての送別会です。これは大変な厚遇で感謝の気持ちで一杯です。円卓でフランス料理風に、次ぎから次ぎと分けて出されるシーフード主体の大連料理に舌鼓を打ちました。

今回の大連大学の心遣いについては、みなさんが書いて居られますが、滞在中、王洪涛先生や運転手

の方に本当にお世話になりました。普通一般の旅行ではこうは参りません。

送別会で挨拶される于建軍副秘書室長



話は前後しますが、25日のアカシヤ祭の開幕式では、帽子とオレンジのTシャツが渡され、多くの観客で賑わう中、特別席での観覧でした。



会場は海に近い広大な星海広場で、隣りに高級マンションが並んでいました。

開幕が告げられると、白い鳩が一斉に飛び放たれ、金色の紙ふぶきが空に舞い、待機していた白一色の中国人による太極拳が演ぜられました。

この後は、ロシアをはじめ近隣諸国の団体が華麗に演技し、日本人の一团も振袖姿の女性や縫いぐるみ、勇壮な太鼓の演舞で観衆を魅了しました。

×

水師営会見所は5月28日午後を訪れました。建物は資料をもとに再現されたもの。庭には「繡帶所之跡」の碑があって、会見は左の手術室で行なわれた由、当時の古い机が残されていました。騎馬の敵将ステッセル一行を「捧げ銃」で迎える一兵士の写真は頭から離れませんが、現地で見ると感動は一入です。明治の軍隊には頭が下ります。

続いて本旅行一番の二百三高地です。頂上に着くや乃木將軍命名の「爾靈山」の碑に日本酒を献げ、ハーモニカで「海ゆかば」「故郷」を吹奏、吹きながら長男に続き、占領直前に次男を失った將軍の心境や、ここから5キロ先の旅順港を眼下

にした兵の気持ちを思ったら、もう涙、涙でした。



その後上の砲台に登る途中、ステンレス支柱のよく出来た案内板「乃木保典戦死之所⇒」があり、急な石段を降りた処、結局、下の道まで降りてしまい、場所には辿り着けませんでした。

「みんなに迷惑を掛けては——」と、急ぎ引き返しました。結構長い自然石の石段で汗ダクダク。



今にして思えば「よくこの齢で、上り下りしたものだ」です。この案内板には薄く「very good」「好」の落書きがあり、「何か？」と思いましたが、それは英文の「KITTEN NAIKITO」にあるようです。

KITTENは、「子ねこ」のこと。次のNAIKITOは、NAIが「乃」の拼音でKITOはローマ字、併せて幼名の「なきと」と読ませる。何故こんなことを。それに「子ねこ」、私にはおちよくっていると思えないのだが。

ともあれ、「参加して本当によかった！」

ホームステイ 受け入れて

去る7月5日、上海の建平実験小学校4、5学年の生徒80名による教育旅行訪問団がわが県を訪れ、6日には福島市でホームステイをしました。

この県の企画に対して、当交流会は、全面的に協力すべく会員に呼びかけましたところ、15名の方から承諾を頂き、生徒30名を受け入れました。

ご協力ありがとうございました。

なお、この後佐藤雄平知事は、上海市政府を訪問されており、帰国後本件について、私あて札状を頂きましたので、お知らせします。 (岩間)

都都と兔子

岩間真弓

“可愛い子には旅させよ”と良いこととは思ってなかなか親としては、実行できないのが常ですが、平成21年7月5日、豚インフルエンザの流行の兆しもあったのにも関わらず、上海建平実験小学校の小学生が80人も福島へやって来ました。そして、6日には一般の家庭にホームステイというのだから、これまたすごい！なんと教育への意識が高い学校と親達なのだろうと思いました。

もし、日本の親や学校だったら食べ物は大丈夫か、治安はどうか、安全か、中国人は大丈夫かなどと余計なことを考え、賛成する人は極わずか、計画まで至らずにきっと終わってしまうことでしょう。



私も中国人の教育への熱心さは友達を通して知ることができ、友人の勧めもあって是非、自分の子どもを中国の小学校へ体験入学させたいと子供が小学2年生の時に北京農業大学附属小学と東北旺小学に体験入学をさせたことがあります。中国の先生方や子どもたちは、子どもを歓待し言葉は通じなくとも輪の中に入り友達ができ、帰りは、さよならしたくないという言葉まで聞かれるほどでした。それは、先生方やクラスのお友達が中国人のお友達と同じ様に優しく接してくれたからだと思いました。

今回、家に都都ちゃんと兔子ちゃんが泊りに来ま



した。この名前は、いつもお家の方からこのように呼ば

れているということで気を使う事のないように家で呼ばれている名前と呼ぶことにしました。

大都会の上海からということできっと自然に触れ合う機会は少ないだろうと思い岩間家では“日本の文化と自然”というテーマで桑折町のうぶかの郷へ連れて行きました。家の中学生の子供とそのお友達2人も加わりとても賑やかで楽しい時を過ごしました。囲炉裏での食事や蛍の鑑賞、すいか割り、裸で入る温泉（水着ではあるそうです。）都都ちゃんは、「蛍火虫を見るのは、初めて！」と蛍火虫～♪蛍火虫～♪と歌って喜んでいました。兔子ちゃんもすいか割りにきゃきゃとはしゃいで喜び、二人ともいい思い出がたくさんできたかなと思いました。

今回のホームステイは、1泊のわずかな時間でしたが、私たち家族にとっても上海からの可愛いらしいお客様をお招きでき大変よかったですと思いました。

ホームステイを受け入れて感じたことは、これからの子供たちが世界を舞台に臆することなく大きく羽ばたけるよう、大人たちがこのような視野を広げてあげる良い機会を作ってあげることが大切なんだ



と思いました。

最後になりましたが、ホームステイを受け入れてくださった皆様

方お忙しいところご協力をいただきまして心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

你好 小朋友

斎藤佐久男

「中国の小学生のホームステイを受け入れ依頼が来てるけど」、「おかあさんが良いと言ったらいいわよ」、「良いんじゃないか」、そんな会話からホームステイ受け入れが決まり、嫁と姑の受け入れ準備が始まりました。さて、そうと決まったら何を食べてもらおうか、手巻き寿司（生ものは良いのか、いなり寿司

が無難か)。たこやき(うまく丸く焼くのに練習しなくちゃ)。焼き肉(一番無難じゃないか)。朝食(和食とトーストで好きに食べてもらえば)。お土産は(1,980円の浴衣4点セットでよいか)。「ところで何人来るの」「車に乗れるのが最大子供6人だから、一人から六人」、「どんな子どもたちが来るの」「そのうちに連絡が来るんじゃないか」。最後の締めは「それからテレビカメラもついて来るらしい」「好きにすれば」。

7月6日、渡利小学校で少し控え目な馬嘉彗・積



極的な周莘如という小学4年生(10歳)の女の子二人と対面しテレビカメラを連れて一路自宅へ。

我が家は福島から20キロ離れた二本松、途中二人は、高速道路を使っているのか、到着まで何分かるかとても気にしていました。それが、「翌日朝8時半までに渡利小学校に帰らなければいけない。」と注意されていたためと気がついたのは就寝前に翌日の起床から出発までの時間を何度も確認された時でした。その他にも玄関で靴と靴下を脱ごうとしたり、家に上がってからも正座を崩そうとしなかったり、トイレやお風呂は何も教えなくても自分たちで問題なく使用出来ていて、日本での生活の注意事項を学校で、そして恐らく旅行中にもだいぶ細かく指導されていたことが見て取れ、またそれを忠実に守ろうとする健気な二人でした。

家について先ずはケーキと飲み物、飲み物は冷やしていないオレンジジュース、流石にお国柄。二人からは女の子が魚を抱えた色紙の額をお土産にもらい、これで我が家もお金持ちになれると早速飾りました。その後、浴衣を着ての撮影会。着付けをする嫁と姑の目には、今は家を出て働いている長女が14年前、まさに目の前の女の子たちと同じ10歳で、一人で一週間の船の旅に行った時のことがダブって

いたのでしょう。その時、恐らく多くの人たちに受けた好意を少しでも返したいとの思いだったと思います。その間の食事の用意は、どこか泊りに行くと言っていた長男が、ダメ親父の物好きに付き合っただけで裏方に徹して準備してくれました。オシメも換えてくれなかったダメ親父なんか相手にしなくてよいのに。

女の子二人と撮影スタッフ三人、それと我が家の四人、合計九人での食事。メニューは焼き肉・いなり寿司・MADE IN おばあちゃんの煮物・焼き餃子。九人の胃袋でもたこ焼き器の出番まではたどり着けませんでした。その頃になると二人もだいぶ慣れてきたようで、家の中を案内してほしいと言って来たり、自分たちで自由に動き回れるようになって、だいぶ調子が出てきたようです。そんな元気も花火・インタビューの撮影が終わったころには力尽きたようでした。そろそろ10時にもなるし、だいぶ疲れた様子だったので、お風呂を勧めるとそうしたいとのことで、ホテルよりは大きい浴槽・洗い場が気に入った様子で、二人で喜んで(恐らく、見てはいないので)入っていました。

翌朝の時間を確認して就寝。しかし、すぐには寝付けないようで、話声が聞こえたり二人で洗面所へ行ったりしているようでしたが、そっとしておくことにしました。



朝、7時に起床予定でしたが、6時半には起きていた様子でした。慌てる必要はないので、

7時少し前に声を掛けて、朝食、出発の準備をし、忘れものがないことを確認して、少し余裕をもって7時45分に家を出ました。渡利小学校へ着いて、二人が友達と合流するのを確認して、仕事の都合があったので出発を見送ることができませんでしたので、その場で別れて来ました。これは、ホームステイを受け入れたすべての方たちと共通の思いだと思いますが、中国に帰っても元気であること、自分ら

しい生き方をして入れること、そして幸せに暮らしていることを願っている人間が日本にいる事を覚えていてくれたら、これ以上のことは有りません。

後日、马嘉慧と彼女の母親の郑莉麗さんから礼状が届き14年前長女が受けた好意を返したかっただけなのに感謝までされて、こんな機会を与えてもらったことに、お礼申し上げます。中国からの手紙の中で、马嘉慧はこれからも連絡を取り合って、近況を知らせてくれること、そしてもう一度必ず日本に来れるようにすると言ってくれていたのので、将来再開できるその日まで、再見！

ホームステイ余話

佐藤 満

中国語がダメな私も小学4年の女子2名を受け持った。7日朝二人を無事に集合場所の渡利小に送り「后有期！」と別れてから、今日でちょうど一週間である。迎えるに当り、準備などで気が張っていたためか、このところの気落ちした感は否めない。

×

まず下の写真である。左が刘方元ちゃん、中央は王婭舒ちゃん可愛い二人だ。一緒のご婦人はわが家の向かいの方で、ホームステイの話をした処、是非会ってみたいと、お菓子を手に見えたのだった。

「這是我家対面的老大娘、今年八十二歳、你們歡迎



來了」 齡のところでは声を出していたから若いと感じたのだろう。「這是栗子羊羹 她的心意」と言ったら、「謝謝」と声を揃えて礼を言った。

夕食後一緒に「月亮代表我的心」を歌ったり、写真を見たりした後、家内が二人に用意したピンクのTシャツ風ワンピース？をプレゼントした。「這是

她的一点儿心意」「謝謝」と受け取った二人は、湯上りにそれを着て出てきた。「美好了！」と拍手。その後そのまま寝床へ。「折角の品も二人には寝巻きか」とがっかりしたが、何と翌日二人はその姿で出立したのには驚いた。と同時に嬉しくもあった。

最後に、さりげない二人だが貧富の差が感じられ、選ばれたわが子を無理して送り出した親心を思うと、今もジーンとしてしまう。(7月14日 記)

言葉の問題は障害にならず

荒 嘉一

一言で言って、とっても楽しく可愛い少年達でした。二人とも一人っ子で、今回の外国旅行は初めての体験ではなく、裕福な家庭の子という印象を受けました。日本人に対して、特別な感情は持っているようではなく、素直な子供達でした。葉の問題ですが、もし英語も中国語もこちら側が分からない場合は、お互いになじむのには少し大変かな、と思いました。しかし日本の子供を、もし海外で受け入れてもらう場合は、お互い言葉が分からなければ同じ状況に陥るのですから、ホームステイを受け入れる条件として、「言葉が絶対必要」ということにはならないと思いました。アニメキャラ工作やそのお絵かきなど、言葉の必要性比率を下げた遊びは、コミュニケーションを上手く補ったと思います。お土産に、アニメキャラの描かれた小さな文房具類と、比較的日本に昔からある、マーブルチョコやグリコキャラメルなどのお菓子を準備しました。よろこんでくれたと思います。

事前配布の受け入れ資料ですが、数字(日時、時間、金額など)は、決して間違っははいけません。受け入れには家族の協力が必須ですから、単に、受け入れ窓口の人間に説明会をするだけでは十分ではないのです。今回の経験収集をも今後は取り込み、資料の充実を望みます。最後に、これは県の方に申し上げたのですが、せっかく県の活動として今回の受け入れを行ったのですから、ノウハウを受け入れた方にヒアリングして、組織としての資産にすべきです。さもなくば、個人の経験として終わってしまい、後々の改善工夫に繋がりません。その意味で、今回のヒアリングは、中国側へも依頼してもよろしいかと

思います。耳にいたいこともあるかもしれませんが、フィードバックもお願いしたいと思います。

感動と学ぶ心を得た喜び

佐藤葉子

上海からのホームステイ受け入れは、小さなかわいい竜巻でした。やってきたと思いきや瞬く間に去っていき、あとに素晴らしい贈り物を残してくれた。

国際化時代と叫ばれている今日ですが、最近では海外で学ぶ日本人は減少傾向にあるといます。一方で中国の上流家庭では、小学生くらいの幼いうちからヨーロッパの学校などで学ばせる例も出ていますと聞きます。

今回我が家にステイしたのは、小学校4年生の二人の男の子でした。



全く中国語音痴の私は受け入れにあたり、ホストとしてのコミュニケーションの手段を考えたときに、不安を覚え躊躇したのは言うまでもありません。あらかじめ、中国語で書いたものを見せながら（発音ができないので）用件だけは何とかして伝えることができればと思い、準備をしておいた。ところが、見事にその期待は裏切られたのです。小学4年生の子どもが流暢に英語で話しかけてくるではありませんか……。しかもナチュラルで耳に心地よいリズムと発音で……。！？全く驚いてしまいました。。



中国では1年生から英語を学んでいて、4年生にしてすでに実用英会話が可能なのです。日本では、小学校からの英語教育について

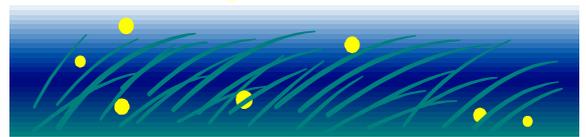
は賛否両論がありますが、子どもの頃から生の語学に触れさせるのは理にかなっていると思う、驚くべき体験でした。生きた語学を学び、コミュニケーションをとることで、人間同士がふれあい、幼い頃の何気ない国際交流が真の国際人を育てるのだと思うのです。

イギリスの有名な詩人、ウィリアム・ワーズワスの詩に「子どもは大人の父である」という言葉があります。まさに彼らは竜巻のごとく、私に刺激と感動、そして学ぶ心をもたらしてくれました。

小さなかわいい訪問者は、一人っ子政策の国に生まれた大切な宝です。不景気や新型インフルエンザなどの影響で、海外渡航に積極的になれない昨今、日本（福島）を信頼して「可愛い子には旅させよ」との精神に拍手を送りたいと思う。そして将来、彼らは国際人として世界に羽ばたくことでしょう。

蛍と素直な上海の男の子

大浪桑美

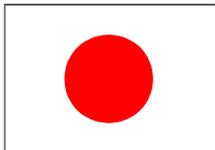


私たち家族にとっては初体験のホームステイで、二人の男の子を預かりました。夕食はいつも通りの家庭料理で、父が作った新じゃがの揚げ煮や野菜の天ぷら、海老フライなど用意しました。彼らは好き嫌いなく(?)たくさん食べてくれました。事前に聞いていたとおり、日本人の子供より食べる量は多いようです。食後は蛍を見に出かけました。やはり都会っ子なのか『見た事ある?』と聞くと『没有、没有』上海にはいないと驚いていました。とても素直な子たちでした。言葉の壁はまだまだ高いものがありました。父母共々楽しいひとときを過ごさせていただきました。彼らもまた、日本に福島に再訪してくれるとうれしいです。

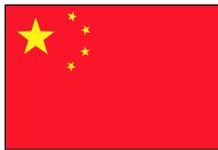
このような機会を与えて下さりありがとうございました。

忘れつつあった中国語、また上海万博を目指して勉強しようかなと思う気にさせてくれました。

改めてお礼申し上げます。



お知らせ



いつも福島日中文化交流会へのご支持とご協力感謝申し上げます。

平成21年度の会費及び各種会費納入のお願い

下記へよろしくお願ひいたします。

会費納入について

- (1) 郵便局振込みの場合(お近くの郵便局で)
02220-7-105525 福島日中文化交流会
- (2) 銀行振り込みの場合
振込先:普通預金 東邦銀行保原支店
口座番号:733649
名義人:福島日中文化交流会
代表幹事 岩間真弓
住所:〒960-0613
伊達市保原町字内町 21-5
- (3) 会費について
法人会員 10,000円 個人会員 3,000円
中国人会員 500円

中国語会話教室からお知らせ

◎中国語会話教室第35期募集!

日時:平成21年10月～平成22年3月
(時間は各級による)

場所:福島市中央学習センター

内容:入門・初級・中級

費用:一ヶ月 3,000×6ヶ月=18,000円

講師:李淑薇・岩間真弓

※一クラス分の授業料で3クラス受講可能

◎高級班勉強会のお知らせ

日時:平成22年3月まで 毎週木曜日15時～16時

場所:福島市中央学習センター

内容:通訳ガイド試験、検定試験1級など

対象:レベルは検定試験準1級以上

◎第69回中国語検定試験開催

日時:平成21年11月22日(日)

場所:福島テルサ

内容:準4級・4級・3級・2級・準1級、1級

「当面の行事のお知らせ」

1 花架拳教室

日時:毎月第2日曜日(都合により変更もある)

場所:福島市中央学習センター

内容:護身術である花架拳を演舞する

費用:平成21年4月～平成22年3月(9,600円)

講師:日本花架拳学会 飯田加寿子

2 健康マージャン教室

日時:毎月第2日曜日(都合により変更もある)

場所:福島市中央学習センター

費用:1年分 6,000円(500円×入会月から)

内容:吸わない・飲まない・賭けない健康なマージャン

3 日本語教室

日時:毎週木曜日 16:00～17:30

場所:福島市中央学習センター

講師募集!

内容:中国人に日本語を教える

*講師料はお支払いできません。教科書各自負担。



4 中秋節交流会

日時:平成21年10月4日(日)

場所:福島市中央学習センター

内容:月餅、他を食べて楽しく交流



5 福島市中央学習センター文化祭参加

日時:平成21年10月31日(土)

内容:芸能発表参加「花架拳と民族衣装」

6 どのような広場

日時:平成21年11月14日(土)

場所:福島市中央学習センター

内容:中国語「中国語っておもしろい!」

7 日中スキー交流会

日時:冬季

場所:未定



8 ホームページ開設のお知らせ

皆様、是非アクセスお願いします。

ブログも書いてね!!待ってます。

<http://www.rizhongwenhua.com>

《編集後記》

今回は大連学習団、ホームステイ、他の記事、写真を多く寄せて頂きありがとうございます。いろいろなイベントが多く企画されてますので、大勢のご参加でより楽しい交流会を期待しております。今後も皆様から多くの情報のご提供を宜しくお願ひいたします。

(編集担当 佐藤満、加藤一朗)